1. 科目名 (単位数)	音楽 (教育学部) (2 単位)	3. 科目番号							
2. 授業担当教員	杉原由利子								
4. 授業形態	講義 演習	5. 開講学期	春期						
6. 履修条件・ 他科目との関係	特になし								
7. 講義概要	小学校教育において必要とされる、音楽の基本的な演奏技能と知識を習得することを目指す。具体的には、小学校共通教材を中心とした弾き歌い、器楽アンサンブル、音楽づくりを学ぶ。								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ピアノの弾き歌いができる。 2. 鍵盤楽器や器楽アンサンブルに関心を持ち、演奏ができる。 3. 声や楽器や身体の動きを媒体として、グループで音楽作品を作ることができる。 4. 基礎的な音楽理論の理解ができる。 								
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>授業終了後必ず、事後学習に取り組んで下さい。特に歌唱練習に力を注ぎ、ピアノ習熟にのみ偏らないように留意して下さい。小テストを2回 (第8及び15回) 実施します。このテストを1度でも欠席した場合はI評価となりますので、必ずテストを受けて下さい。日々の練習を録音・録画して振り返る習慣をつけましょう。また各テストの前週に、事前課題として録画映像データを提出して頂きます。授業の中でソプラノリコーダーを使用しますので、準備をしておいてください。ジャーマン式とバロック式の2方式がありますが、いずれでも構いません (最近の潮流では、バロック式を採用する傾向です。)</p> <p>読譜に関して移動ドで円滑に行えるように繰り返し練習を重ねます。また、音楽理論に関する領域の学修の確認のために、模範的に教員役を担当し頂くごく短時間の「模擬授業」を実践していただきます。</p>								
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】 有本真紀・坂井恵・山下薫子編著 『教員養成課程 小学校音楽科教育法 2022 改訂版』教育芸術社。</p> <p>【参考書】 その他、必要な楽譜や 資料は随時配布します。</p>								
11. 成績評価の規準と 評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小学校共通教材を中心としたピアノの弾き歌いができるようになったか。 2. グループによる「アンサンブル」や、音楽づくりに積極的に取り組んだか。 3. 基礎的な音楽理論を理解し、説明できるか。 <p>○評定の方法</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 日常の授業への取り組み及び意欲</td> <td>総合点の 40%</td> </tr> <tr> <td>2. 実技発表</td> <td>総合点の 40%</td> </tr> <tr> <td>3. 音楽理論の理解</td> <td>総合点の 20%</td> </tr> </table>			1. 日常の授業への取り組み及び意欲	総合点の 40%	2. 実技発表	総合点の 40%	3. 音楽理論の理解	総合点の 20%
1. 日常の授業への取り組み及び意欲	総合点の 40%								
2. 実技発表	総合点の 40%								
3. 音楽理論の理解	総合点の 20%								
12. 受講生への メッセージ	<p>ピアノが弾けるようになるためには技術の習得が必須です。日々の鍛錬を忘れずに積み重ね、努力すると必ず弾けるようになります。楽器を所持していない方は、簡易的な電子楽器でも構いませんから、準備しましょう。気持ちよく授業を進める為。声を出し、視線を合わせて挨拶をすることを必ず行いましょう。保育・教育に携わる皆さんが音楽の楽しさ、素晴らしさを次世代に伝えていける伝達者になって欲しいと思っています。この授業では欲張ってたくさんの方に取り組みます。事前の譜読みや練習なしに授業に臨んでも、有意義な時間が過ぎませぬ。熱心に、楽しく取り組んで下さい。授業冒頭にわらべ歌の学習を実践します。</p>								
13. オフィスアワー									
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第 1 回	シラバスの概要説明・オリエンテーション	事前学習	シラバスに目を通す。						
		事後学習	次回までに授業で示された内容を予習する。						
第 2 回	1 基本的な楽典①—譜表/音符/休符/音名階名について 2 共通教材の抜粋を用いたピアノ演奏と歌唱① 3. わらべうたの実践①/音楽理論の模擬授業 (学生による)	事前学習	楽典内容の確認。指示された楽曲の練習。						
		事後学習	わらべうたの追試を行う。 授業で実施した歌、ピアノの練習を行う。						
第 3 回	1 基本的な楽典②—リズムと拍子/リズム唱について 2 共通教材の抜粋を用いたピアノ演奏と歌唱② 3. わらべうたの実践②/音楽理論の模擬授業 (学生による)	事前学習	楽典内容の確認。指示された楽曲の練習。						
		事後学習	わらべうたの追試を行う。 授業で実施した歌、ピアノの練習を行う。						
第 4 回	1 基本的な楽典③—変化記号(臨時記号)/調号について 2 共通教材の抜粋を用いたピアノ演奏と歌唱③ 3 わらべうたの実践③/音楽理論の模擬授業 (学生による)	事前学習	楽典内容の確認。指示された楽曲の練習。						
		事後学習	わらべうたの追試を行う。 授業で実施した歌、ピアノの練習を行う。						
第 5 回	1 基本的な楽典④—基本的な楽語に関して 2 共通教材の抜粋を用いたピアノ演奏と歌唱④ 3 わらべうたの実践④/音楽理論の模擬授業 (学生による)	事前学習	楽典内容の確認。指示された楽曲の練習。						
		事後学習	わらべうたの追試を行う。 授業で実施した歌、ピアノの練習を行う。						

第6回	1 基本的な楽典⑤—音程/和音について 2 共通教材の抜粋を用いたピアノ演奏と歌唱⑤ 3 わらべうたの実践⑤/音楽理論の模擬授業（学生による）	事前学習	楽典内容の確認。指示された楽曲の練習。
		事後学習	わらべうたの追試を行う。 授業で実施した歌、ピアノの練習を行う。
第7回	1 基本的な楽典⑥—コードネーム 2 共通教材の抜粋を用いたピアノ演奏と歌唱⑥ 3 わらべうたの実践⑥/音楽理論の模擬授業（学生による）	事前学習	楽典内容の確認。指示された楽曲の練習。
		事後学習	わらべうたの追試を行う。 次回の小テストの準備をする。
第8回	第1回小テスト (ピアノ課題曲発表・音楽理論確認)	事前学習	第1回小テストの準備をする。
		事後学習	小テストの振り返りをする。
第9回	1 基本的な楽典⑦—音階について 2 弾き歌いの実践①—歌と左手3和音 3 わらべうたの実践⑦/音楽理論の模擬授業（学生による）	事前学習	楽典内容の確認。指示された楽曲の練習。
		事後学習	わらべうたの追試を行う。 授業で実施した歌、ピアノの練習を行う。
第10回	1 基本的な楽典⑧—音階について 2 弾き歌いの実践②—歌と左手3和音 3 わらべうたの実践⑧/音楽理論の模擬授業（学生による）	事前学習	楽典内容の確認。指示された楽曲の練習。
		事後学習	わらべうたの追試を行う。 授業で実施した歌、ピアノの練習を行う。
第11回	1 基本的な楽典⑨—調性について 2 弾き歌いの実践③—歌と右手旋律, 左手単音 3 わらべうたの実践⑨/音楽理論の模擬授業（学生による）	事前学習	楽典内容の確認。指示された楽曲の練習。
		事後学習	わらべうたの追試を行う。 授業で実施した歌、ピアノの練習を行う。
第12回	1 音楽づくり—リズムで音遊び 2 弾き歌いの実践④—歌と右手旋律, 左手3和音 3 わらべうたの実践⑩	事前学習	音楽づくりとは何か、関連の書籍等で調べる。
		事後学習	わらべうたの追試を行う。 授業で実施した歌、ピアノの練習を行う。
第13回	1 楽器アンサンブル（リコーダーの演奏技能） 2 弾き歌いの実践⑤	事前学習	楽器の演奏法などを事前に調べる。
		事後学習	楽器を練習する。
第14回	1 ヴォーカルアンサンブル 2 実技発表の準備	事前学習	歌唱練習をグループで行う。
		事後学習	次回の小テストの準備をする。
第15回	第2回小テスト (実技発表・音楽理論確認)	事前学習	次回の小テストの準備をする。
		事後学習	テストの振り返りや楽典の復習をする。